

ニセコ観光圏(倶知安町、ニセコ町)における、長期滞在型観光に関する調査・研究

プロジェクト代表者: プラート・カロラス

●プロジェクトの目的・概要

このプロジェクトは、平成26年に観光圏の認定を受け、今後、国際的なリゾート地へのブランドアップを図っていく必要がある倶知安町、ニセコ町において、観光に関する基礎的調査研究を実施し、インバウンドの増加と滞在期間の延長に寄与することを目的としています。

●具体的な取組内容

具体的な取組みとして

- ①ゼミ生をニセコ地域に派遣し、観光に関するフィールド調査を夏季に実施しました。
- ②研究教員のグループにより、北陸新幹線の開業とインバウンドの影響を調べるため「金沢・飛騨高山」でのフィールド調査を実施しました。
- ③ニセコ町地方創生に関わる総合戦略策定支援(地方創生委員会への委員(副座長)派遣)を行いました。
- ④ニセコ町及びニセコリゾート観光協会が行う、観光アンケート作成への協力を行いました。

●プロジェクトの成果及び地域への還元

- ①学生のフィールド調査では、インバウンド向けの高級旅館や外国人ホテルスタッフへの直接インタビューを学生が行い、夏季インバウンド観光ニーズについて調査を行いました。また、地域に学生が赴くことで、地域の実情を体感・理解することが出来ました。
- ②「金沢・飛騨高山」の調査では、インバウンド観光を促進させる為の課題「2次交通整備」と「インバウンド向け滞在プログラムの整備」が明らかになりました。
- ③総合戦略の策定支援については、委員(副座長)の派遣を通じて、研究成果のニセコ町への還元を行い、情報提供(プロジェクトによるアンケート調査やフィールド調査から得られた知見)・戦略の方向づけなどの支援を行い、平成28年3月の総合戦略策定に貢献しました。
- ④ニセコ町及びニセコリゾート観光協会が行うアンケート調査では、冬季におけるスキーをしない観光客への滞在実態調査に協力し、調査票作成への助言のほか、今後、得られたデータの分析を行う予定となっております。



夏季フィールドワーク調査